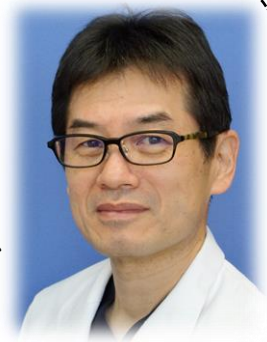


# 地域医療連携室だより



## ～ 院長就任のご挨拶 ～

この度、太田前院長の後を引き継ぎ4月1日付で院長として赴任しました山口でございます。日頃より当センターの運営にあたり、多大の御支援を頂きありがとうございます。当センターは難治性呼吸器疾患やアレルギー疾患の専門病院としての政策医療を担うとともに地域のニーズに応える総合病院としての機能も果たしてきております。しかしながら、団塊の世代が75歳以上となる2025年問題に代表される少子高齢化が急速に進む今後に対応すべき病院機能のさらなる充実が喫緊の課題であります。



今年度の診療報酬改定では1. 医療従事者の負担軽減、医師の働き方改革、2. 患者にとって身近で安心・安全で質の高い医療の実現、3. 医療機能の分化・強化、連携と地域包括システムの推進、4. 効率化・適正化を通じた制度の安定性・持続可能性の向上が示されています。当センターも機能分化を可能な限り進め、地域の先生方への逆紹介を積極的に進めて参ります。さらに4月以降、眼科の新体制への移行、泌尿器科外来の開設など一般診療科の診療体制を強化しております。公立病院は2025年度に向けて機能分化、再編、統廃合を余儀なくされる状況になりつつあります。当センターは診療体制の充実と共に健全な経営体質の確立が要求されています。専門性を活かしつつ、一般診療科の充実とともに経営基盤の安定を図り、南河内医療圏においてなくてはならぬ基幹病院としての役目を果たし、地域の医療機関との連携を深めていきたいと考えております。今後ともご支援の程よろしくお願い申し上げます。

院長 山口 誓司

## 泌尿器科外来を開設しました

当センターでは、令和2年4月から、大阪大学からの応援をいただき、非常勤医師による泌尿器科外来を開設いたしました。診察は、水曜午前と金曜午前となります。

対象疾患は泌尿器科疾患全般です。臓器としては副腎、後腹膜、腎、尿管、膀胱、前立腺、精嚢、尿道、精巣、陰茎、陰嚢であり、疾患種類としては、悪性腫瘍、慢性腎不全、男性機能（不妊症と性機能障害）、尿路結石、排尿機能などの治療を行ってまいります。

検査は、外来で対応可能な前立腺がん検診、超音波診断、CT、MRIなどの画像診断、尿流量測定など、泌尿器科専門医が専門的な治療を提供します。泌尿器症状でお困りの患者様がおられましたら、お気軽に地域医療連携室を通じて、ご紹介・ご相談をお願いいたします。

## 眼科の医師体制についてご案内

昨年度は、年度途中の診療体制の縮小により、地域の医療機関の先生方には大変なご迷惑をおかけし、申し訳ありませんでした。

4月から、奈良県立医科大学眼科学教室のご支援をいただき、二人の常勤医師（水澤、鴻池）が着任いたしました。

新年度からは、一般的な眼科診療に加えて白内障手術、硝子体注射等を始めとする治療も開始させていただきます。お困りの患者様がおられましたら、お気軽に地域医療連携室を通じて、ご紹介・ご相談をお願いいた

## ◆2020年 新任医師からのご挨拶

放射線科 主任部長

竹下 徹 先生

◇専門分野

画像診断、IVR

◇ひとこと

はじめまして。4月より着任いたしました竹下と申します。CT、MRI検査をはじめとする画像診断を担当いたします。迅速かつ正確な診断に努めてまいります。よろしくお願いいたします。



放射線科 副部長

堤 真一 先生

◇専門分野

放射線治療一般

◇ひとこと

前職は、大阪市立大学で11年、和泉市立総合医療センターで半年勤務しました。主に癌の放射線治療で地域医療に貢献させていただきまので、よろしくお願いいたします。



麻酔科 副部長

播磨 恵 先生

◇専門分野

麻酔科一般

◇ひとこと

はじめまして。播磨と申します。2年前に20年ぶりで名古屋から大阪に帰って参りました。よろしくお願いいたします。



皮膚科 医長

広瀬 晴奈 先生

◇専門分野

皮膚科一般

◇ひとこと

4月より着任いたしました広瀬晴奈と申します。大分大学医学部付属病院で13年勤務して参りました。アレルギー診療を通して、地域医療に貢献します。宜しくお願いいたします。



眼科 診療主任

水澤 裕太郎 先生

◇専門分野

眼科一般、網膜硝子体

◇ひとこと

4月よりはびきの医療センターにて勤務させていただき水澤と申します。微力ではございますが、日々の医療を通して皆様のお力になればと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。



小児科 診療主任

釣永 優希 先生

◇専門分野

小児アレルギー、小児結核

◇ひとこと

4月より3回目の着任となりました釣永と申します。1年間千葉大学に国内留学しておりました。アレルギー拠点病院として、大阪府のアレルギー診療の向上に努めたいと考えております。よろしくお願いいたします。



眼科 医員

鴻池 純輔 先生



◇専門分野

眼科一般

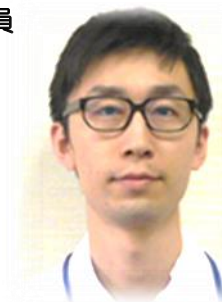
◇ひとこと

4月よりはびきの医療センターで勤務させていただきます鴻池と申します。

眼科診療を通して、少しでも地域医療に貢献できれば幸いです。今後ともよろしくお願ひいたします。

呼吸器総合センター 医員

森泉 和則 先生



◇専門分野

呼吸器科一般

◇ひとこと

はじめまして。4月より着任しました森泉と申します。昨年までは大阪警察病院で勤務して参りました。呼吸器診療を通して地域医療に貢献します。よろしくお願ひ致します。

呼吸器総合センター 医員

柳瀬 隆文 先生



◇専門分野

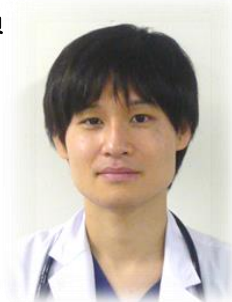
呼吸器内科一般

◇ひとこと

はじめまして。4月より着任いたしました柳瀬と申します。大阪急性期総合医療センターで3年勤務してまいりました。呼吸器内科診療を通して、地域医療に貢献します。

呼吸器総合センター 医員

酒井 俊輔 先生



◇専門分野

呼吸器内科一般

◇ひとこと

4月より着任致しました酒井俊輔と申します。これまで北海道、兵庫県で研鑽を積み、7年目。引き続き地域とともに医療に取り組んで参ります。よろしくお願ひします。

呼吸器総合センター 医員

山田 知樹 先生



◇専門分野

呼吸器内科一般

◇ひとこと

はじめまして。4月より着任いたしました山田と申します。後期研修以降を堺市立総合医療センターで5年勤務してまいりました。よろしくお願ひいたします。

麻酔科 医員

池田 暁彦 先生



◇専門分野

麻酔科一般

◇ひとこと

はじめまして。4月より着任いたしました池田と申します。麻酔診療を通して、地域医療に貢献します。よろしくお願ひいたします。

**放射線科 レジデント**

**松島 央和 先生**

◇ひとこと

はじめまして。4月より着任いたしました松島央和と申します。昨年までは大阪市立大学付属病院で勤務してまいりました。画像診断を通して、地域医療に貢献します。よろしくお願いいたします。



**呼吸器外科 レジデント**

**杉浦 裕典 先生**

◇ひとこと

4月より赴任いたしました杉浦と申します。医師5年目と若輩者ではありますが、精一杯病院に貢献できるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。



**産婦人科 レジデント**

**西川 恭平 先生**

◇ひとこと

はじめまして。4月より着任いたしました西川と申します。奈良医大大学病院で1年勤務してまいりました。後期研修2年目でわからないことだらけですが、よろしくお願いいたします。



**呼吸器外科 レジデント**

**福山 馨 先生**

◇ひとこと

はじめまして。4月より着任いたしました福山馨と申します。関西労災病院で2年、阪大病院で1年勤務してまいりました。呼吸器外科診療を通して、地域医療に貢献します。よろしくお願いいたします。



**皮膚科 レジデント**

**田邊 稔明 先生**

◇ひとこと

皮膚科レジデントの田邊と申します。自分自身興味のあるアトピー性皮膚炎を含め、皮膚科診療の実力を培って参ります。どうぞよろしくお願いいたします。



**皮膚科 レジデント**

**三岡 良栄 先生**

◇ひとこと

4月より着任いたしました三岡良栄です。これまで内科医として勤務して参りました。このたびアトピー性皮膚炎を中心に当院にて研鑽をつみ、今後地域医療に貢献して参りたく存じます。よろしくお願いいたします。

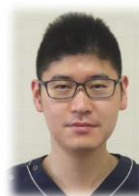


**耳鼻咽喉科 レジデント**

**田中 晶平 先生**

◇ひとこと

4月より着任しました田中と申します。耳鼻咽喉科診療を通じて地域の皆様に貢献できればと考えています。よろしくお願いいたします。



**小児科 レジデント**

**中竹 俊信 先生**

◇ひとこと

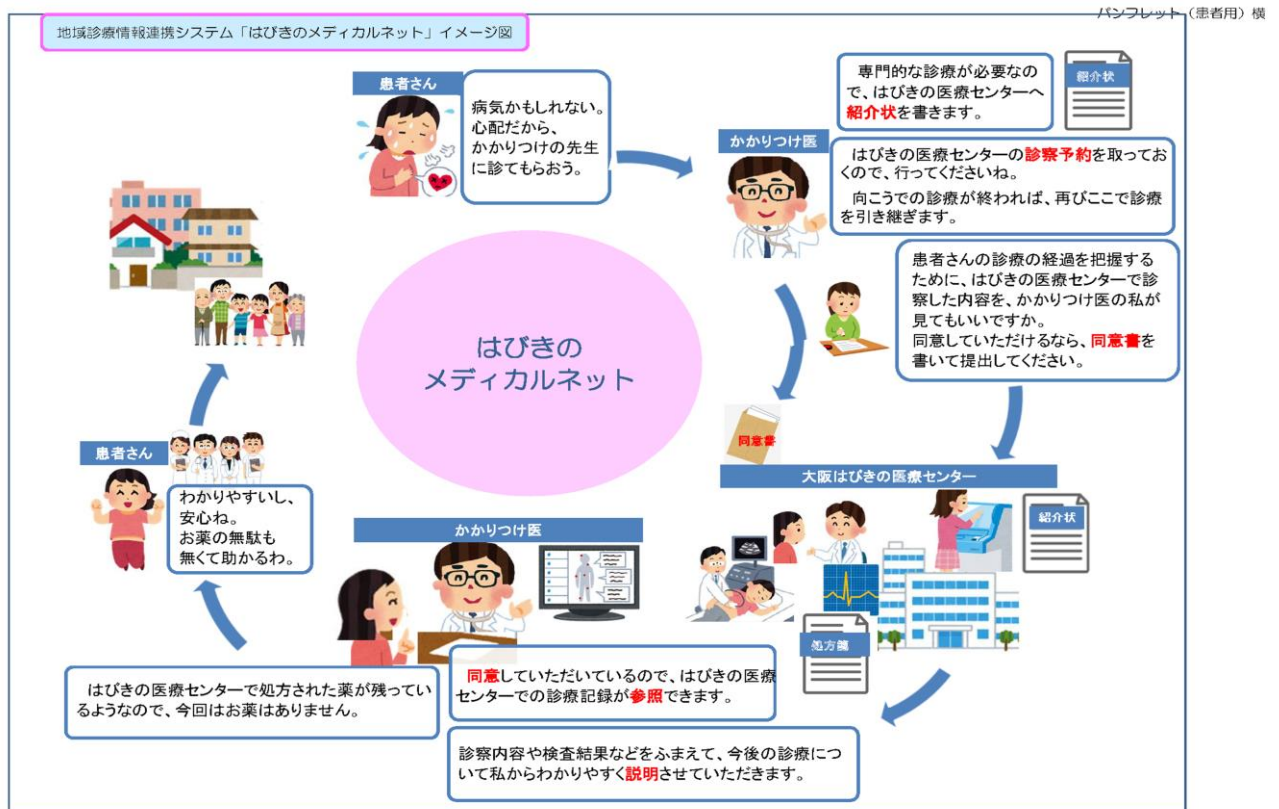
こんにちは。4月より着任いたしました中竹俊伸と申します。淀川キリスト教病院で後期研修終了後、こちらでお世話になることになりました。よろしくお願いいたします。



## ～ 地域医療連携室からのお知らせ ～

2020年度4月から医師の働き方改革もふまえ、受診報告書を簡略化を実施いたします。つきましては、従来 封書でお届けしていた受診報告書を来院通知と合体させた形式にし、FAXで送信させていただきます。受診報告について、ご確認事項がございましたら、地域医療連携室までご連絡いただきますようお願い致します。ご理解・ご了承のほどよろしくお願い致します。

上記同時期より、地域連携の発展に向けICT（情報通信技術）を導入し、紹介頂いた患者さんの情報を紹介元医療機関が患者さんの同意を得た上で当センターの入院中・外来の状況をWebで閲覧する『はびきのメディカルネット』を開始致します。情報提供のありかたも少しずつ変化していく方向性となってまいりますので、是非ご利用・ご協力をお願いします。



## 院長退任のご挨拶 ～ はびきのでの14年を振り返って～

職員として14年間、その内院長として5年間ありがとうございました。

簡潔に14年を振り返ってみます。

2006年8月に呼吸器外科部長として着任。一般病床440、結核病床150床、多剤耐性結核や肺真菌症、結核性慢性膿胸の手術が多かった。

2009年に新型インフルエンザ(H1N1型)の流行で1年間に200名余りの死亡があり、これを機に発熱外来棟設置。PPEをして皆で鼻腔検査をしました。

2010年に川瀬院長が就任。私は総務G地域連携室と共に、地域の病院情報誌「さる一と」発行数1000部の春秋の発刊を開始。また、現在の院内の4センターを構築。

2011年3月11日東日本大震災が発生！ 緊急医局会でほぼ全員が救護隊の派遣に同意し、4月2日より第1隊～5隊が岩手県大槌町で救護活動。院内各部署の積極的な態度に感動した(詳細は、さる一と2011年秋号)。

2015年4月院長に就任してすぐ、2階のICU近くで井水管が破損、漏水した水で廊下は深さ4～5cmの河になった。総出で排水に駆け回りました。この年に開始した事業は、時間内の救急受け入れ、NICU開設、5階のHCU設置、小児科ショートステイ。産婦人科では1000分娩を超え、乳腺外科が診療科として独立。

2017年 呼吸器・アレルギー医療センターの名称を、はびきの医療センターに変更。耳鼻咽喉科を再開、リニアックを更新し、消化器内科外来を再開。7月から火と木の24時間部分救急を開始。

2018年 9月には大阪直撃の台風で、倒木や飛び石で駐車場の車が多数被害に遭った。新病院の基本設計が9月から開始され、毎週の検討で19年4月に完成。

2019年 地域医療支援病院の承認を目指して、救急件数と、紹介・逆紹介件数の増加を進め、承認可能の見込み。新病院の具体的な設計を開始。

2020年 新型コロナウイルス感染症で診療制限と歓送迎会全て中止。色々あった14年間でした。2012年に60周年記念誌を編集しましたが、新病院完成の2022年は開院70周年です。伝統をつなぎ新たな発展を願っています。

太田 三徳



### 令和2年3月末付け退職医師

院長	太田 三徳	呼吸器外科副部長	土井 貴司
放射線科主任部長	樋上 泰造	呼吸器外科医員	永田 秀樹
眼科主任部長	森岡 幸憲	麻酔科医員	八木 拓也
集中治療科副部長	清水 一範	皮膚科診療主任	執行 彩希
集中治療科医員	金 成浩	皮膚科レジデント	川崎 秀史
肺腫瘍内科医員	野田 成実	産婦人科医員	隅田 大地
肺腫瘍内科医員	鮫島 有美子	産婦人科レジデント	脇 啓太
肺腫瘍内科医員	金井 友宏	放射線科医長	益岡 豊
小児科レジデント	藤谷 響子	放射線科レジデント	谷崎 智史

#### 大阪はびきの医療センター

地域医療連携室 直通電話番号：072-957-8030  
FAX (072)957-8051  
☎ (072)957-2121 (代表)

地域連携室室長： 川島 佳代子  
マネージャー： 秦 順子